愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	海外研修C		
担当者(Instructors)	宮城 エステバン	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	4	必修・選択(Required / selection)	選択
			実務家教員科目(Pro teacher course)

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

海外で実施される4週間以上の語学研修プログラムに単独で参加し、外国語でのコミュニケーション能力の向上を図るとともに、現地の方々との交流や課外活動を通じて、異文化について学ぶ。 また、それらの体験を通じ、母国語とその文化についての見識を深め、表現力・発信力を身につける。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	単独での渡航のため、講義・演習形式で現地での安全を確保するための事前研修を行う。 海外で4週間以上の語学研修に参加する。 帰国後は学びを確認するための事後研修を行い、レポートにまとめる。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	海外交流協定校等、海外でのプログラムを行う。現地担当者と、本学国際交流センターと連携し、語学研修を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	事前研修(現地情報・渡航準備)	現地についての事前知識・安全情報など、渡航に必要な基本的なん英会話と現地での生活についての知識を学ぶ	□
第2回	事前研修(課題説明・現地で学ぶ語学についての基礎)	研修目的と研修中の注意事項、研修において課される課題説明を通して、研修計画をたてる	□
第3回	現地語学研修プログラム(1)(2)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(1)(2)	□
第4回	現地語学研修プログラム(3)(4)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(3)(4)	□
第5回	現地語学研修プログラム(5)(6)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(5)(6)	□
第6回	現地語学研修プログラム(7)(8)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(7)(8)	□
第7回	現地語学研修プログラム(9)(10)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(9)(10)	□
第8回	現地語学研修プログラム(11)(12)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(11)(12)	□
第9回	現地語学研修プログラム(13)(14)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(13)(14)	□
第10回	現地語学研修プログラム(15)(16)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(15)(16)	□
第11回	現地語学研修プログラム(17)(18)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(17)(18)	□
第12回	現地語学研修プログラム(19)(20)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(19)(20)	□
第13回	現地語学研修プログラム(21)(22)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(21)(22)	□
第14回	現地語学研修プログラム(23)(24)	現地で実施される語学研修プログラムに参加する(23)(24)	□
第15回	事後研修(課題作成・振り返り)	課題作成と振り返り	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前:渡航にあたって必要な現地情報・必要な英会話の確認と準備を行う。現地では毎日の語学プログラムで学ぶ内容についてテキストの読解を2時間程度行う。 事後:現地ではその日に学んだ事や経験した出来事などを日記として記録しておく。その際、学ぶ語学で簡単にまとめることが望ましい。語学プログラムの復習を含めて2時間程度行う。帰国後は各自の課題に従ってレポートとしてまとめる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

現地での語学研修プログラムおよび海外生活を通して学んだことについて、報告書を作成する。作成した報告に基づいて、学びを深めるために必要な指導を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	海外での生活に必要な知識・技能を修得することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019全学共通DP2	海外での生活を通じて自己を理解し、主体的に他者と協同して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

語学研修先の指導者による評価(70%)本研修に関するレポート(30%)

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		